

学校名 南城市立大里北幼稚園	連絡先 TEL : 098-945-2583 Eメール : mikayo00607@city.nanjo.okinawa.jp
--------------------------	--

1 実践事項

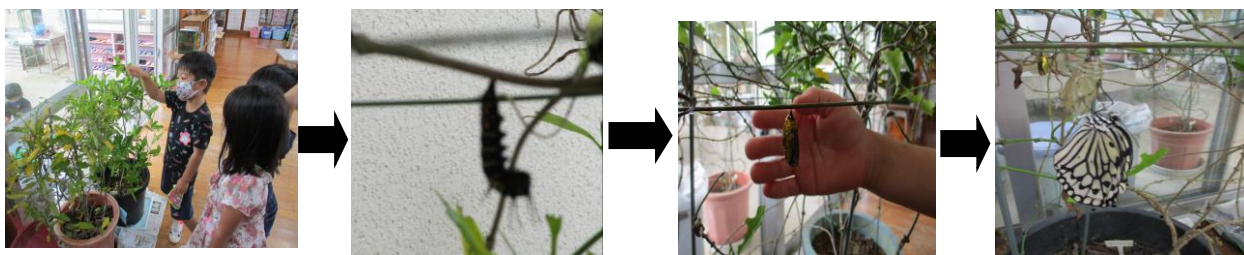
「子どもと共に作る保育ドキュメンテーション」

2 実践内容

- ① 子どもの興味や関心に基づいた豊かな体験を通して、遊び込むための環境構成や援助の仕方を工夫する。
- ② 子どもの思いに共感しながら、言葉を拾い、言語化・視覚化していく。
- ③ 子どもと共にワクワクするようなドキュメンテーションを作成する。
- ④ 子どもと遊びの振り返りを行う際に、保育ドキュメンテーションを活用し、次につなげる。

3 説明資料

- ① 身近な自然や生き物との触れ合いを通して
 (自然との関わり・生命尊重・豊かな感性と表現・言葉の伝え合い・思考力の芽生え)
 - ・季節の草花や野菜・幼虫の食草等を計画的に栽培し、遊びに活用する。
 - ・自分で捕まえた虫や幼虫などを飼育し、観察や触れ合いを楽しむ。
 - ・見る、触れる、嗅ぐ、聴く、味わう (五感を使い、感動体験を重ねていく)



いつでも観察できるようにハウライカガミを室内に置く

卵から幼虫へ
毎朝、幼虫の成長を見守る

幼虫から蛹へ
手のひらでそーっと触れている

金の蛹から蝶へ
神秘的な瞬間をじーっと見守る

『おおごまだらの長さくらべ』



幼虫の大きさを木の枝で測り、折った木の枝を紙に貼り、比べていた。蛹の動く様子・脱皮した時の皮を大事に張り付けていた。



飼育した卵や幼虫がどんな蝶になるのか予想する楽しさや羽化した喜びを友達と共有しながら、描き進めていた。

② 親子シーサー作りを通して

(豊かな感性と表現・協同性・言葉による伝え合い・思考力の芽生え・自立心)

- ・親子陶芸教室(シーサー作り)を通して、地域の文化に触れ、興味をもつ。
- ・遊びの中で試行錯誤しながら、色々なシーサーを作って楽しむ。

『シーサーマップを作ろう』



園周辺を散歩しながら、シーサーを探しに出かけた。色々なシーサーを発見し、友達と会話を楽しむ。

散歩時の写真と紙を用意すると、「シーサーマップを作りたい」と友達同士、知っていることを伝え合い、書いていた。

「シーサー探し」という共通の目的を持つことで、普段気づかないことを発見し、驚きや好奇心・興味を持ち、友達と伝えあう楽しさを味わっていた。



親子シーサー作りが、7月から延期となり、10月開催までの間、子ども達の興味・関心が広がり、色々な素材や廃材を使って遊ぶ姿が見られた。泥・粘土・廃品を使って、色々なシーサー作りを楽しむ。また、さくら組の守り神シーサーも完成し、発表会の人形劇にも登場した。

③ 秋の遠足を通して

(豊かな感性と表現・協同性・言葉による伝え合い・思考力の芽生え)

- ・秋の遠足を通して、感動体験を友達と共有し、思ったこと・感じたことお互いに伝えあう。

『いろんな動物に会えてうれしかったね』



遠足の振り返りをしながら、色々な声が出てきたので、「一番会えて嬉しかった動物は何？」と問いかけ、それぞれが動物を描き、大きな画用紙に貼っていった。自分が見たときの思いや発見したこと、気づいたことを伝えあい、書き足していった。みんなの前で発表したり、掲示することで、友達と共有、共感、伝えあう姿が見られた。

4 成果

- ・遊びの中で、発見したこと、考えたこと、感じたことなどを教師や友達と伝えあうことで、相手のよさに気付いたり、協同して活動したりする楽しさを味わうことができた。

5 課題

- ・子ども一人一人の興味・関心に寄り添い、個に応じた援助や支援の手立ての方法を探っていく。
- ・自分の思いや考えを伝えることが苦手な子に対して、ドキュメンテーションを活用しながら自由に表現できるようにしていく。